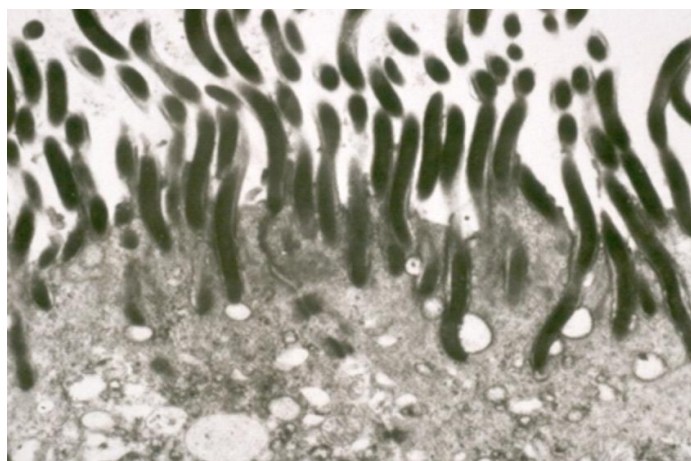
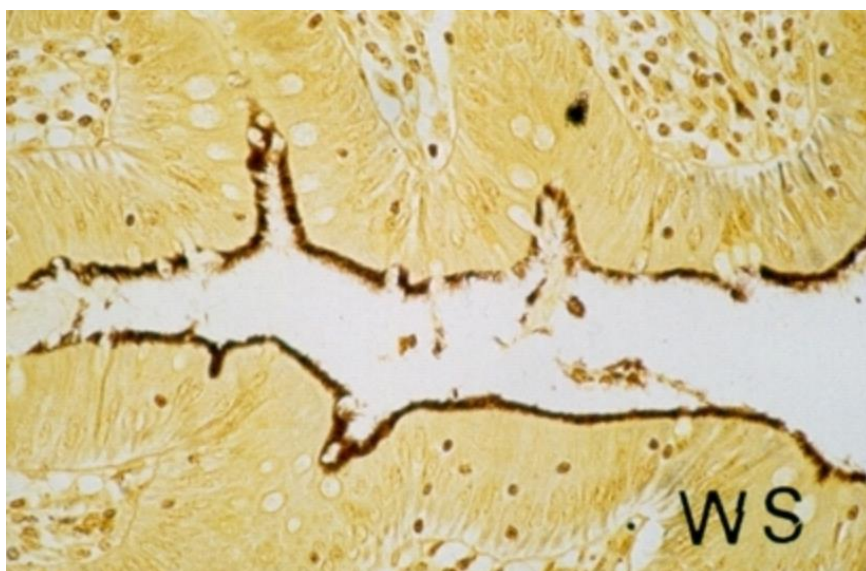


腸管スピロヘータ症と大腸内視鏡検査

ヒト腸管スピロヘータ症 (human intestinal spirochetosis; HIS) は、螺旋状を呈するグラム陰性嫌気性菌の *Brachyspira* 属を原因菌とする大腸感染症です。梅毒 (syphilis) と混同されることがありますが、梅毒の原因菌である *Treponema pallidum* とは全く異なる弱毒性の菌です。



下痢を訴え、除菌とともに軽快した例もありますが、一般的には無症状で、大腸ポリープ等の大腸内視鏡検査を行う際に偶然見つかります。特徴的な内視鏡像はなく、臨床的な診断は不可能で、腸管上皮表面の菌塊の存在により、病理で診断されます。



治療はメトロニダゾールの投与が一般的。無治療で自然に消失してしまうという報告もあります。